再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課: 道路局 環境安全・防災課

担当課長名: 水野 宏治

スマートICアクセス 事業名 市道加佐草加野線	事業 区分 地方道	事業主体	兵庫県三木市
自:兵庫県三木市平田 起終点 至:兵庫県三木市加佐		延長	2.3km

事業概要

市道加佐草加線は、三木市街と小野工業団地(小野市)を南北に結び、市の清掃センターや山陽自動車道三 木サービスエリアへのアクセス道路である。

(仮称)三木スマートICの整備に合わせて市道加佐草加野線を整備することで、周辺道路の交通が分散され 渋滞の緩和や事故の削減、山陽自動車道へのアクセスが改善されることによる物流の効率化や地域活性化が 図られる。

R3年度事業化	- 年度都市計画決定 (- 年度変更)			3年度用地流	善手	R4年度工事着手	
全体事業費	約10.	挂 捗率	約43%	供用済殖	延長	— km	
計画交通量	3,700台/日						
	EIRR (事業全体)	総費用	(残事業)/(事業 4.6 / 12		:	事業)/(事業全体) 03 / 103 億円	基準年
用 8.5 対 _參 11.7 [2%] 効 ^考 13.9 [1%]	28.1%	事業費 維持管理費 更新費		円 走行紅		96 / 96 億円 5.6 / 5.6 億円 1.5 / 1.5 億円	令和6年
果 (残事業)	(残事業)	咸 (事業全	:体)		(残事業)	
分 22.2		度 交通量	B/C=7.4~9.3	3(±10%)	交通量	B/C=19.4~24.4	4(±10%)
析 🛜 25.5 [2%]	111.8%	分 事業費 析 事業期間	B/C=7.9~9.	2(±10%)	事業費	B/C=18.4~28.0	O(±10%)
が (参 25.5 L2%) 考 27.1 [1%]		事業期間	B/C=8.2~8.	$8(\pm 20\%)$	事業期間	B/C=22.0~23.0	$0(\pm 20\%)$

事業の効果等

•交通安全

三木小野IC・三木東ICへの交通が分散され、三木市内及び小野工業団地等の交通渋滞の緩和が期待される。 生活道路事故多発地域の交通量が減少するため、交通事故の削減が期待される。

緊急医療体制の確立

三木SA内で発生した救急時において、第2次救急医療機関へのアクセスが向上し、救命率の向上が期待される。

• 防災効果

美嚢川氾濫時において、浸水によるアクセス困難地域と物資受入拠点等との経路が確保され、迅速な救援活動が支援できる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・国土交通大臣からの連結許可(令和2年10月16日付け)
- ・国土交通省近畿地方整備局、兵庫県、西日本高速道路(株)関西支社、小野市からの実施計画の合意 ((仮称)三木スマートインターチェンジ地区協議会 令和2年9月11日)

事業評価監視委員会の意見

事業継続を妥当と認める。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

周辺環境等に特に変化はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

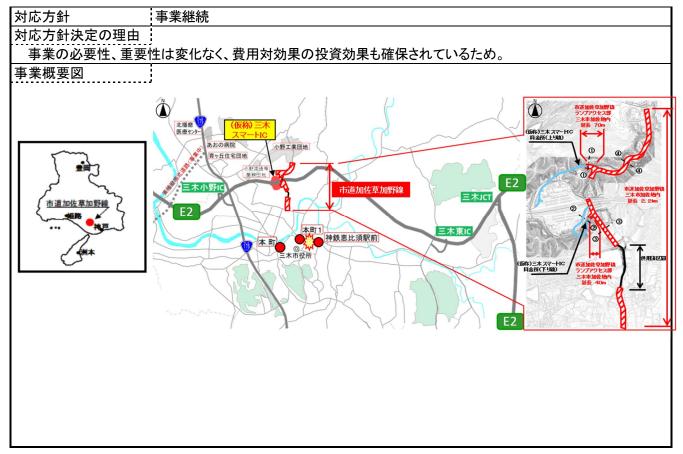
用地進捗率約94%、事業進捗率約43%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地の取得を継続し、早期完了を目指して事業を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。



- ※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
- ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を 設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔]内は社会的割引率の値)